

総務企画委員会会議記録

総務企画委員長 三浦 正臣

1 日 時

令和2年7月1日（水） 午前10時28分から
午前10時40分まで

2 場 所

第4委員会室

3 出席した委員の氏名

三浦正臣、後藤慎太郎、古手川正治、嶋幸一、浦野英樹、羽野武男、荒金信生

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

総務部長 和田雅晴 ほか関係者

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

(1) 第77号議案のうち本委員会関係部分については、可決すべきものと全会一致をもって決定した。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

議事課委員会班	課長補佐（総括）	富高德己
政策調査課調査広報班	主事	麻生ちひろ

総務企画委員会次第

日時：令和2年7月1日（水）本会議休憩中

場所：第4委員会室

1 開 会

2 総務部関係

（1）付託案件の審査

第 77号議案 令和2年度大分県一般会計補正予算（第3号）
（本委員会関係部分）

（2）その他

3 閉 会

会議の概要及び結果

三浦委員長 ただいまから、総務企画委員会を開きます。

本日審査いただく案件は、今回付託を受けた議案1件です。

それでは、第77号議案令和2年度大分県一般会計補正予算（第3号）のうち、本委員会関係部分について、執行部の説明を求めます。

高木財政課長 第77号議案令和2年度大分県一般会計補正予算（第3号）の全般的事項と歳入について御説明します。

別途お配りしている総務企画委員会資料の1ページをお開きください。

冒頭にあるとおり、今回の補正予算案は、国の第2次補正予算を踏まえ、医療機関、社会福祉施設等における感染防止対策の充実・強化や学校の安全で安心な学習環境の確保等を図るため、早急に対応する必要がある経費を追加補正するものです。

補正額は166億8,061万7千円であり、累計の予算額は7,032億7,210万4千円となります。

次に、歳入について御説明します。

令和2年度補正予算に関する説明書（補正第3号）で説明します。

2ページをお開き願います。今回補正する歳入は、全額、上から二つ目の国庫支出金となっています。

その主な内訳について説明します。

6ページをお開きください。第9款国庫支出金第2項国庫補助金は166億6,067万6千円の増となっています。

主なものとしては、まず、中ほどにある新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金ですが、第2目福祉生活費国庫補助金及び第3目保健環境費国庫補助金を合わせて、142億9,948万8千円の増額となっています。

これは、医療機関の従事者や高齢者・障害者福祉施設に勤務する職員等に対し、最大で1人当たり20万円の慰労金を給付するほか、医療

機関や社会福祉施設等が行う定期的な消毒など感染症対策の充実・強化を図るための経費に充当するものです。

また、一番下にある新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金ですが、第5目農林水産業費国庫補助金及び7ページの第9目教育費国庫補助金を合わせて、17億4,545万7千円の増額となっています。

これは、学校における臨時休業に伴う児童生徒の学びの保障と安全で安心な学習環境の確保や、国の経営継続補助金を活用してスマート技術の導入を行う農林漁業者に対する国庫補助への上乗せ助成に要する経費等に充当するものです。

以上が歳入です。

なお、今回の補正予算案には総務部関係の歳出はありません。

三浦委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

浦野委員 3番の医療・介護等従事者慰労金給付事業、こういった特定の業種の個々の従業員というか、働いている方に直接給付というのは今まで余り制度としてはなかったのかなと思います。この制度の周知にあたり、実際には福祉保健関係の部署が中心になると思うんですけども、例えば、医療機関の常勤職員であれば間違いなく対象になりますけれども、非常勤だとか、ヘルパーで派遣されている人が対象になるのかどうかという、どこまで対象になるのか分からない部分も出てくるのかなと思うので、そこは各部署と連携して周知をお願いしたいと思っています。その辺り、どのような形で周知を行っていくのか、今のところの考え方、予定があったらお聞かせください。

高木財政課長 病院等医療機関、あと高齢者福祉施設となっていますが、どこまで範囲かというのは国からまだ正確な方針等が示されていないので、今現在は正職員と事務職員全部含めて

予算計上しています。今後明らかになれば、福祉保健部を中心に関係機関等にしっかりと周知をして、範囲等を確定させて給付していきたいと考えています。

浦野委員 分かりました。実は対象になっているけど、対象になっていると分からなかったというケースはやっぱりなくしていかなければいけないと思いますので、協力して周知をよろしくをお願いします。

嶋委員 地方創生臨時交付金ですが、大分県分125億円という報道がありましたけど、今回は17億円が浮き出て予算案を作っているということですが、感染状況が一段落したとはいえ、非常に厳しい状況が続いていて、今が胸突き八丁だと思うんですよ。残りの108億円程度、いつどのような形で予算編成するのか、スピード感が求められていると思うので、そこら辺の考えをお聞かせください。

和田総務部長 御指摘のとおり、いわゆる感染症を封じ込めるというステージはかなり終わってきたので、これからは社会経済活動を再活性化させる方に力点が移っていくんだろうと思っています。

県庁の中でも、御案内のとおり社会経済活動を再活性化していくための緊急推進本部というのを今立ち上げて、知事からもスピード感を持ってこれはやれと言われていています。商工観光労働部が中心となってやっていますけれども、既に回も何回か重ねています。この会合の中で今何が一番困っていて、どこに手を打たなきゃいけないかを正にスピード感を持って検討して、恐らく、そこで出てきた課題について100億円を超える交付金を充てていく形でやっていくと考えています。

御指摘のとおり、タイムリーに適宜適切にやるということは非常に大事だと思っているので、その点について、我々もしっかりと認識しながら進めていきたいと考えています。

嶋委員 丁寧な検討も必要ですが、検討事項は的確に早目にして、対応は迅速にというのが大事だと思うので、しっかりやっていただきたいと思います。我々もしっかり後押しをしたいと

思います。どうぞよろしくをお願いします。

古手川委員 今、個別にも詰めた形の中で検討されているということと、なかなかデータを調査、集計してそれをいかすという形で、どうしても時間がかかるんだと思うんですが、サービス業を中心にかなり被害というか影響がある。その後、製造業だとかそういう分野までどれだけ影響が出ているのかなど。これは4月、5月でそれなりに分かっていると思うんですが、本来は商工にお伺いすることかもしれませんが、その辺はどうなんでしょうか。サービス業に対するものとその以外のものと、また随分対応策が変わってくるんだと思うし、深刻さも度合いが違うんだと思うんですが、その辺分かる範囲で結構ですからお聞かせください。

和田総務部長 今日、報道で速報ベースだったと思うんですけども、製造業と非製造業に分けて景気のD Iか何かの指標が出ていて、今製造業もかなり悪くなっていると承知しています。商工観光労働部に聞いてみても、3月ぐらいまではどちらかというと正にサービス業を中心に悪いという話だったんですけど、4月、5月になるに連れて、どうも製造業も調子が良くないという話をだんだん聞き及んでいる状況です。

さきの臨時会でも出した補正予算の中にも当然、いわゆる15万円、30万円をいろんな事業者等に支給する給付金をやりましたけど、あれとあわせて、実はものづくりの補助金も上積みさせていただいたところでして、そちらについても、これも恐らく緊急推進本部の中で、実はものづくりの方がさらに深刻になってくれば、そちらの方についても手を打っていく必要があるなと思っています。

古手川委員 先般、上京された際に、部長、ずっと知事に同行して省庁、自民党を回られたと思うんですが、その辺の国の感触はどうですか、見方ですね。

和田総務部長 製造業に限った話ではないんですけども、恐らく東京の方がよりこの問題は深刻な状況にあるので、非常に東京の方がむしろこちら以上に深刻に影響を受け止めているのか

なというのが一つありました。

それとこれは先の話になるかもしれませんが、これまでではどちらかというソフト的な対策を中心にやってきたんですけれども、いわゆる公共投資みたいなものもいずれは考えていかなきゃいけないのかなと。国土強靱化は引き続きやっていかなきゃいけないので、それについても今後考えていかなきゃいけないかなという考えをお持ちの政府、あるいは与党の御意見もあるように私は感じたところです。

三浦委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

三浦委員長 ほかに御質疑もないようですので、これより採決します。

本案のうち、本委員会関係部分については、原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

三浦委員長 御異議がないので、本案のうち、本委員会部分については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で付託案件の審査を終わります。

この際、ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

三浦委員長 別にないようですので、これをもって本日の委員会を終わります。

皆さん、お疲れさまでした。